

令和 6 年度愛知学院大学歯科技工専門学校自己点検・自己評価報告書

令和 6 年度 自己評価について

愛知学院大学歯科技工専門学校は、教育基本法の精神に則り、学校教育法に従って昭和 37 年に愛知学院大学歯科技工士学校として、愛知学院大学歯学部併設されました。中部地区では最初のもので、歯科技工士に必要な専門教育を施すとともに仏教精神、特に禅的教養を基とした「行学一体」「報恩感謝」の理念をもって有用な人材を育成することを目的としています。

本校では令和元年度より、より良い自己評価を目指して文部科学省「専修学校における学校評価ガイドライン」を参考として評価項目の改良を行い、現状・課題の把握ならびに改善策の検討・実施を始めました。また、評価にあたっては教員の自己評価をはじめ、学生アンケートなども踏まえて行っています。今後は、この学校自己評価の結果を生かし更なる教育の質の向上を図っていきます。

1. 対象期間

令和 6 年 4 月 1 日～令和 7 年 3 月 31 日

2. 実施方法

- (1) 学内に「自己点検・自己評価委員会」を設置し、委員会を中心に教職員一同により評価を行う。

委員会構成：委員長 校長

委員 顧問

附属病院歯科技工部 歯科技工士長

歯学部事務長

その他校長が指名する者

- (2) 評価は「専修学校における学校評価ガイドライン」を参考に行う。
(3) 評価は、年一回年度末に行う。
(4) 評価結果の公開は、本報告書をホームページに掲載することにより行う。

3. 自己評価の項目

自己評価は、以下の 9 項目を実施する。

- (1) 教育理念・目的
(2) 学校運営
(3) 教育活動
(4) 学修成果
(5) 学生支援
(6) 教育環境

- (7)学生募集
- (8)法令等遵守
- (9)社会地域貢献

4. 評価項目に対する評価

評価は4～1の点数で記載する。

評価 4:適切 3:ほぼ適切 2:やや不適切 1:不適切

(1)教育理念・目的

	評 価 項 目	評価(1～4)
①	学校の理念・目的・育成人材像は定められているか	4
②	学校における職業教育の特色が明示されているか	4
③	社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	3

<状況および課題>

- ・教育理念、ポリシーを定めキャンパスガイドやホームページで開示している。学生パンフレットに職業教育の特色を記載し周知している。
- ・デジタル化など社会ニーズをとらえていない部分があるので、デジタル教育の導入など今後カリキュラムの見直しを図っていきたい。

(2)学校運営

	評 価 項 目	評価(1～4)
①	目的等に沿った運営方法が策定されているか	4
②	運営方針に沿った事業計画が策定されているか	3
③	運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか	3
④	人事・給与等に関する規定等は整備されているか	4
⑤	教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	4
⑥	教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	3

<状況および課題>

- ・法人組織のもとに学校運営をしており、規則・規定等は整備、明確化している。
- ・将来構想の策定にまでいたっていないが、カリキュラムの見直しと関係が深いので、合わせて検討をすすめる必要があると考えている。
- ・国家試験対策・合格実績及び附属病院があることによる充実した臨床については他校との差別化となるため、さらなる情報公開に努めたい。

(3)教育活動

	評 価 項 目	評価(1～4)
①	教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4
②	教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の就業年限に対応した教育到達レベルや学習時間は確保されているか	3
③	学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	3
④	キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫開発が実施されているか	3
⑤	授業評価の実施・評価体制はあるか	3
⑥	成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確化になっているか	4
⑦	資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4
⑧	人材育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	3

<状況および課題>

- ・教育理念・教育目的に沿った教育活動指針を明示し、教育活動を実施している。
- ・デジタル教育については不十分な状態であるので、体系的なカリキュラム編成及び重点を置くべきカリキュラムに関し精査を進め、導入を検討したい。
- ・臨床実習が学生にとって有益であったので、令和7年度も引き続き実施していきたい。
- ・国家資格取得に向けたカリキュラムを編成し、指導を行っている。
- ・令和6年度は欠員があり支援体制が不十分であったため、令和7年度は補充を予定している。

(4)学修成果

	評 価 項 目	評価(1～4)
①	就職率の向上が図られているか	4
②	資格取得率の向上が図られているか	4
③	退学率の低減が図られているか	2

<状況および課題>

- ・就職率の向上に向けて、個別面談を実施するなどフォロー体制を整えている。
- ・令和6年度も国家試験は100%の合格率であった。
- ・令和6年度の退学者数を鑑みると、人員不足により十分なフォローを実施するのが難しかったと考えられる。人員を補充し、支援体制を整える事で、退学率の低減に努めたい。

(5) 学生支援

	評 価 項 目	評価(1～4)
①	進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4
②	学生相談に関する体制は整備されているか	4
③	学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	4
④	学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4
⑤	学生の学内生活環境への支援は行われているか	4

<状況および課題>

- ・進路・就職については学年担任が面談・指導にあたり、十分な支援体制を整えている。
- ・キャンパス内に保健室を常設し、健康診断の実施、健康相談、応急処置、カウンセラーによる相談等、健康管理を行っている。
- ・学内の奨学金制度、日本学生支援機構奨学金や修学支援制度の案内・手続きサポートなど、経済的支援体制を整えている。
- ・新入生特待生制度を新設し、経済的支援体制の一層の充実を図っている。

(6) 教育環境

	評 価 項 目	評価(1～4)
①	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	3
②	学内外の実習施設、インターンシップ、学外研修等について十分な教育体制を整備しているか	3
③	防災に対する体制は整備されているか	4

<状況および課題>

- ・老朽化した実習机・AV 機器等の設備を更新し、教育上の必要性に対応できるよう環境を整備している。
- ・国家試験においてデジタル分野の出題も増えてきており、臨床現場からもデジタルに関する教育への要望も大きいため、引き続き環境の整備、教育の充実を図っていきたい。
- ・キャンパス全体で防災訓練を実施しており、防災に対する体制は十分に整備されている。

(7)学生募集

	評 価 項 目	評価(1～4)
①	学生募集活動は、適正に行われているか	2
②	学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	3
③	学納金は妥当なものとなっているか	4

<状況および課題>

- ・オープンキャンパス、高校訪問、Web 媒体を利用した募集活動において適切な学校案内、教育成果の明示を行っている。
- ・人員、予算的に厳しい状況下で学生募集活動に尽力しているが不十分な状態である。
地方入試の導入など入試制度の見直しに取り組んでおり、今後学生数の増加が見込めると考えている。

(8)法令等遵守

	評 価 項 目	評価(1～4)
①	法令、専修学校設置基準の遵守と適正な運営がなされているか	4
②	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4
③	自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	4

<状況および課題>

- ・法令を遵守した適正な運営、個人情報保護対策を徹底している。
- ・年に1回自己評価を実施し、問題点の改善に努めている。

(9)社会地域貢献

	評 価 項 目	評価(1～4)
①	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献を行っているか	4
②	学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	4

<状況および課題>

- ・学内施設の貸出を行い、必要に応じて外部講習も行っている。
- ・学生ボランティア活動を支援する体制を整えている。